

## 【 第26回男子世界選手権 】

2019年1月10日～1月27日 開催地:ドイツ、デンマーク

### 試合結果報告 1 月 19 日 ( 土 )

JPN	VS	COR
<b>14</b>	前半	<b>12</b>
<b>11</b>	後半	<b>15</b>
<b>25</b>	合計	<b>27</b>

#### 個人得点

No.	名前	得点	合計
10	杉岡 尚 樹	0	0
13	笠原 謙 哉	1	1
15	部井久 アダム 勇樹	1	1
16	甲斐 昭 人	1	1
18	成田 幸 平	1	1
19	徳田 新之介	2	2
20	渡部 仁	1	1
21	土井レミイ 杏利	10	10
24	信太 弘 樹	0	0
25	元木 博 紀	1	1
26	久保 侑 生	0	0
27	玉川 裕 康	0	0
29	岡元 竜 生	0	0
31	吉野 樹	3	3
33	東江 雄 斗	4	4
44	門山 哲 也	0	0
			<b>25</b>

#### 戦評

予選リーグを6位で終えた日本は、デンマーク・コペンハーゲンに移動し、21位-24位の順位決定戦(プレジデントカップ)に臨んだ。相手はグループA6位、コリアとの対戦となった。

前半5:1ディフェンス、部井久をトップに置き攻撃は左バック、信太を2枚目ディフェンスからセンターに起用する布陣からスタートした。立ち上がり早々、不運な退場が2つ続き、リズムに乗れない日本であったが、フットワークを生かしたディフェンスやGK甲斐の好セーブ、吉野の得点で互角のスタートを切った。20分過ぎから土井、成田の3連取で11対7の4点差をつけて流れをつかんだが、その後シンプルに1対1から攻めてくるコリア20番KANG Tと34番KANG Jに押し込まれる形で失点。前半は14対12の2点リードで折り返した。

後半、コリアは、日本ディフェンス2枚目の外側にポストを置く攻撃を起用してきた。日本はそれにうまく対応できず、退場や7mTにより失点してしまう。また、チャンスにもコリアGK1番PARKIにセーブされてしまい、10分経過時には16対17と逆転を許した。しかし、そこから土井が素晴らしい集中力を見せて得点。7人攻撃も機能し、東江の得点で残り10分、再び逆転に成功した。その後どちらも譲らず、一進一退の攻防が続くが、残り2分コリアの切れ味鋭い1対1から7mTを与えてしまい、これを9番JOが2本連続で決め、27対25の2点差で敗退した。

8月のアジア大会において韓国とは2試合をして「引き分け」と「1点差敗退」であった。今回の試合も内容的には日本が勝利できる試合であった。しかし終わってみると退場7回、7mT7本による失点となってしまう、流れをつかめず試合が進んでいったことが残念でならない。この大会最後の対戦はアフリカ代表アンゴラ。ワイルドカードでつかんだ世界挑戦へのチャンス、2020東京に向けた新たなスタートとなるようチャレンジ精神で全力で臨む。

報告記入者 : 舎利弗 学